

第124回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和4年9月15日(木)午後1時30分
- 2 場所 湯河原町役場 第2庁舎 3階 会議室(湯河原町中央2-2-1)
- 3 委員総数 10名、出席委員数8名、欠席委員数2名
出席委員:さいとう真由美、深田真弓、小原健、川口正樹、宮下睦史(感想提出)、石田浩二(代理:久能木孝一)、鈴木なつみ、山田碩斗
欠席委員:舘石晃一、高橋祐介
放送局側出席者:山崎浩一

4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した

5 議事 番組へのご意見

◆対象番組:真鶴町長トーク『真鶴時間』

- ・放送日程:毎月第3水曜日 14時~15時(60分録音番組)
- ・令和4年7月20日放送分

○委員からの意見

- ・地元で活動するゲストを通じて地域の紹介する有意義な番組だと思う。
- ・地元紙や広報誌等紙媒体やインターネットの活字だけではわからない生の声がたっぷり聴けるのが良いと思う。
- ・ゲストとのほのぼのとした話が良かった。
- ・最初にMCの方がゲストの紹介をして始まったが、他の市町と同様に最初に町長とMCがトークしてからゲスト紹介をした方が良かった。
- ・前フリ無しで曲が流れたが、前フリしてから曲を流した方が良い
- ・今回のゲストが教育長ということで教育に関して参考になる話が聞けたのが良かった
- ・教育長と聞くと遠い感じがするが、人となり聞いてとても親近感が湧いた
- ・子育てママ世代の方も興味深く聞いていただけるのではないかと思います。
- ・教育長とはどんな事をしているのか知らないので普段の仕事内容を紹介すると良いと思う
- ・今の学校の先生たちは仕事のストレスで体を壊している方も多いと聞くので教育長のようなポジティブな話を聞いてもらいたいと思った。
- ・固くない教育関係の番組があれば子育て世代のリスナー獲得が出来るのでは?
- ・最初教育長がゲストということで固い内容の話という先入観があったが、時々ユーモアを交えながらのトークで思いのほか身近に感じられた。
- ・子育て世代の方には子供の視点からではなく教育者の視点から話が聞ける良い機会なのではと思った。
- ・熱海市長、真鶴町長トークの時間と同じ枠ということで、真鶴はいつから始まったのか?

《局から回答》

⇒現在の松本町長になってからは今年4月からスタート。

- ・真鶴町民が聴いてどう思うか
- ・真鶴町の選挙人名簿流出問題がある中、この時期に放送するのはどうか?

・放送している局側も風評被害を受けるのでは？

《局から回答》

⇒ゲストとのトークではなく、問題となっている名簿流出の事を聞きたいと思っている真鶴町民も多いのかも知れない

・一般的に身近でない教育長の話が聞けるのは貴重だと思う。人柄が伝わった

・顔や名前は知っているがどのような人か知らないというケースはよくある。今回は教育長だったが、役場の色々なセクションの人の話も聞けたら良いのでは。

・例えば新聞等で知っているような内容でも、改めて言葉で事情を聞くと、ああこういう事だったのか、と理解が深まると思う

・それぞれの長の方自身の声で聞けるのでより親しみを感じる。

・ゲストの教育長の温かな人柄がよく伝わってきた。

6 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、

次回は、令和4年11月17日（木）に熱海市内で開催することになった。